

新の打

一、或る女子が
未

川は柳や
清原ひとし画

9
10

なごやかな夜の空気が
しつとりと皮膚を包む、
ミモサとヘリオトリスに
中ぎすみの女の袖がう
かすかにそそりかきりか
春の夜の滋味を交す。

今宵はた少女歌劇の

あてやかな舞台をめぐり、

人込みに立ち入りスターが、

おほせいの少女に捲かれん、

華やかな笑いと握手、

輪とまわって街を流れる。

電飾と白い建物

堀割に映る街の光

電光三十三歩

癖